

海老名災害ボランティアネットワーク、平成 29 年度 第 3 回定例会 議事録

開催日時：2017 年 7 月 6 日（木）19 時～21 時

開催場所：海老名市総合福祉会館、第 3 会議室

出席者（敬称略）：橋本、水本、三宅、野本、中村、福田（議事録作成）

（1）各担当より

●会計より：2017 年 6 月末日の残金 248,234 円

平成 29 年度の会費納入済み：個人会員 20 名、賛助会員 13 名、団体会員 2 団体

（2）活動の報告

① 東柏ヶ谷小学校 1 年生への「福祉教室」の実施

日時：6 月 28 日（水）10 時 40 分～11 時 30 分（50 分間）、場所は 4 階の特別室

内容：防災ポーチの使い方のお話とシェイクアウト訓練の実施

出席者：1 年生 3 クラス 74 名、先生 3 名、校長先生、災ボラ 2 名（水本、福田）

討論：防災ポーチに入っている大きなビニール袋の説明で、次のことを訴えた。大規模な地震が起り停電すると、水道の水が出なくなること、排水施設が破損していないことを確認するまでは、「水洗トイレに水を流してはいけない」⇒「糞尿は固形物にして処理する」という原則が、親にも子どもにも周知徹底されていない。マンションなどの集合住宅では、排水管の破損で下層階の居室に被害が出る。戸建て住宅でも、下水道本管が破損した場合や本管に至る住宅敷地内の排水管が破損した場合、水を流すとトイレから水が溢れ出す危険性がある。

「シェイクアウト訓練」の説明を最初に行い、途中で「地震だ」という声を契機に、子どもたちは窓から離れた特別室の中央で（机はない）、「頭を守り、身をかかめ」自分の命を守る姿勢（「ダンゴムシ」のような形）を約 2 分間とった。

最後に、今日の訓練について、家に帰ったら親と話合っって欲しいと訴えた。

② 「海老名災害ボランティアネットワークだより」2017 年 6 月 1 日号の配布状況

- ・災ボラ会員（個人会員＋賛助会員）に定例会の議事録（5 月、6 月）も同封し郵送（92 円×41 通）。
- ・海老名市へは、印刷した当日（6 月 16 日）に、手渡した。
- ・東柏ヶ谷及び柏ヶ谷の自治会連合会（北部地域）の会議が 6 月下旬に開催されるので、そこで各自治会に配布・回覧してもらった（東柏ヶ谷 2 丁目自治会長を通じて）。
- ・サンパルク 650 自治会と浜田町自治会の自治会長（知人）には、持参し回覧を要請した。
- ・総合福祉会館、ピナレッジ、コミュニティセンター（大規模改修中の国分コミセンを除く 11 館）には、「ネットワークだより」を持参し各館に 10 部づつ置かせてもらった。

③ 災害に関する海老名三者定例会 7 月の報告⇒今後の予定で検討する

（3）今後の予定及び事業内容の検討

① イオン黄色いレシートキャンペーンへの参加（災ボラの PR 活動です）

日時：7 月 11 日（火）13 時～14 時、場所：イオンの駐車場側の出入り口からコーンコース

出席予定者：橋本、福田、三宅と野本

② サンパルク 650 自治会の防災訓練への支援・協力

日時：7 月 16 日（日）9 時～10 時半頃 出席予定者：橋本、福田、+（ ）

7 月 22 日（土）10 時～12 時頃 出席予定者：橋本、福田、中村、+（ ）

内容：三者定例会の7月報告を参照、サンパルク650自治会のピラ（添付ファイル）を参照
上記2日間のうち、出席できる方は福田まで連絡してください。指導員ではなく見学でも結構です。

災ボラの自治会に対する支援・協力は、指導員の派遣、マニュアル作成のための資料提供、体験型減災訓練用の資機材提供（各種水運び用具、非常用トイレ、ガラス飛散防止、家具転倒防止模型など）、
災害食について、水を入れて30分以上待っている場合、お湯を入れて10分程度待っている場合の両方を試してもらうことも良いのではないかという話が災ボラ定例会で出された。⇒自治会と協議する。

③ サンカン（3館）フェスティバルへの参加

日時：2017年8月5日（土）11時～15時、場所：総合福祉会館1階のフロア

内容：昨年と同様に、親子連れを対象に、新聞紙などを使ったコップ、お皿、スリッパの作成、災害時の水洗トイレの使い方（固形物としての処理）などをPRする。

④ 2017年度「ビッグレスキューかながわ」（神奈川県・小田原市合同防災訓練）

日時：2017年9月1日（金）9時～

場所：酒匂川スポーツ広場（小田原市）、県、市町村、警察、消防、自衛隊、海上保安庁など

神奈川災ボラと小田原災ボラが災害救援ボランティアセンターは共同で、災害救援ボランティアセンターの設置訓練を行う予定です。

2018年度の9都県市合同訓練の本会場は川崎市で「劇場型訓練」（「見せる訓練」？）、神奈川会場は海老名市となっている（「市民参加型訓練」？）。ぜひ多くの災ボラ会員が2017年度の小田原会場に参加して欲しい。⇒詳細は8月3日（木）の海老名災ボラ定例会で検討する。

⑤ 海老名災ボラ主催の「減災・災害対応訓練」の件

日時：9月24日（日）10時～13時

場所：海老名市総合福祉会館

内容：昨年（2016年11月26日）と同様、（3者会議7月の報告を参照）

7月定例会の出席者に、2016年11月26日の災ボラ主催「体験型減災・災害対応訓練」の時に配布した資料を配布した。⇒詳細は、8月3日（木）の海老名災ボラ定例会で検討する。

⑥ 「安全安心フェスティバル」＋「扇町防災フェス2017」の同時・共同開催の件

日時：10月7日（土）10時～16時

会場：海老名駅西口広場、資料：7月5日に発信した三者定例会の7月報告を参照

災ボラとしても、このイベントにブース（テントを借りる）を出して参加する方向を打ち出したい。

未だ、危機管理課と扇町側の具体的な詰めが十分ではないようなので、災ボラが実施する内容等については8月3日（木）の海老名災ボラ定例会で検討する。

（4）その他

○ 海老名市社会福祉協議会より、2017年度の賛助会費の申し込み用紙が来たので、何口にするか討論した。賛助会費1口千円×口数、2016年度はそれ以前の1万円から下げて5口=5000円とした。討論では、3口3000円でよいという意見、社協との協力関係を考慮して昨年と同額5口5000円でよいという意見が出された。会議室の終了時間が迫ったので、討論は打ち切り、採決となった。

5000円に賛成5名、3000円に賛成1名で、2017年度の社協の賛助会費は5000円に決定した。

次回：8月3日（木）19時～ 海老名市総合福祉会館、第3会議室

次々回：9月7日（木）19時～ 海老名市総合福祉会館、第 会議室

以上